

# IEEJ Industry Applications Society News Letter

電気学会産業応用部門ニュースレター 2011年9月号 (<http://www2.iee.or.jp/ver2/ias/nl/>)

## 産業応用部門の編修広報委員会 Editorial Committee on Industry Applications Society

電気学会 産業応用部門 編修広報委員会委員長  
大石 潔 (長岡技術科学大学)

Kiyoshi Ohishi (Nagaoka University of Technology)

Chairperson of Editorial Committee, Industry Applications Society, IEEJ



今年の6月から1年間産業応用部門編修広報委員会委員長を担当させていただきます。どうぞよろしくお願いいいたします。前任は、論文委員会において、編修長2年と編修長補佐4年の合計6年間、業務を行って参りました。論文誌とニュースレターは産業応用部門としての出版物ですので、論文委員会との連携を密にとりながら、会員（読者）にとって良い情報をタイムリーに伝えていきたいと思っております。産業応用部門には、この他に、研究調査運営委員会、国際化委員会があります。編修広報委員会は、これらの委員会とも綿密な連携をとり、タイムリーにその活動成果を会員の皆様にお伝えしたいと思っております。

### ・ ニュースレター

ニュースレターは、平成23年5月号から現在、電気学会誌とともに、産業応用部門会員のお手元に届く雑誌として唯一の雑誌となりました。論文誌である産業応用部門誌冊子体はホームページのJ-STAGEからのダウンロードサービスに完全移行となりました。個人会員の1部門誌冊子体の年間購読契約は11,340円（送料無料で）です。既に、このサービスは5月号から始まっております。年度途中からでも随時受付をしております。詳しくは下記のホームページをご参照ください。

<http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/27-publication/index210.html>

従いまして、産業応用部門の会員とダイレクトにつながり唯一のメディアとなったため、限られた誌面の中で皆様が今一番知りたい情報を的確に伝える必要があります。ニュースレターで定期的に掲載されている項目としては、巻頭言、産業応用フォーラム開催案内、学会情報、技術開発レポート、研究グループ紹介、部門大会開催案内、国際会議情報などですが、巻頭言の充実に取組みたいと考えています。特に、巻頭言は、会員皆様にお伝えする必要のある記事と時期に対してある程度の尤度を持った記事がごございます。部門としての方針と考えを情報提供するだけでなく、部門が抱える課題の共有と解決に向けた意見の収集といった役割があります。産業応用部門の会員とダイレクトにつ

なが唯一のメディアとなった冊子体になりましたので、産業応用部門の新しい取組みに対し、成果や今後の課題などを紹介しながら、皆様からのご意見をいただくことで更なる改善にチャレンジしたいと考えております。近々には、J-STAGEのダウンロードサービスの論文誌情報（目次）をニュースレターに掲載していきたいと考えております。

### ・ 産業応用部門ホームページ

会員の皆様のサービス向上に対するホームページの果たす役割の高さについては、言うまでもございません。部門独自のホームページの運用が取組まれ、組織的な更新が可能となっておりますので、その機能を活用して、内容の充実を図りたいと考えております。編修広報委員会に、会員（読者）皆様からのいろいろな情報を頂ければと考えております。さらに、ホームページにおけるインターラクティブ性の向上は、今後の大きな課題として認識したいと思います。

### ・ 電気学会の編修会議

電気学会の全部門において、重要な業務の一つとして、学会誌ならびに論文誌（部門誌）の発行を行う編修会議がございます。その中で、産業応用部門では産業応用部門誌（論文誌）の邦文論文誌と英文論文誌の併行出版を検討しており、近々の編修会議において、産業応用部門のこの検討を進めていくことを承認して頂きました。論文誌がJ-STAGEからのダウンロードサービスに完全移行となりましたので、著者や読者への費用負担が軽減されたこの機会に、電子情報通信学会と同じように、邦文論文誌と英文論文誌の併行出版を実現していきたいと考えております。英文論文誌に関して、会員（読者）皆様からのいろいろなコメントや質問を頂ければと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

会員皆様にとって有益な情報を提供していく所存ですので、よろしくご支援のほどをお願い申し上げます。